



PTAおやこあんぜん会

発行／(公財)富山県PTA親子安全会 編集／広報委員会

富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内 TEL (076)433-2094 FAX (076)433-2096 E-mail anzenkai@ch.mbn.or.jp

富山県PTA親子安全会主催の講演会を開催しました

笠井 信輔 さん「アナウンサーパパの子育て奮闘記」

公益財団法人富山県PTA親子安全会講演会（第13回富山県PTA会員大会）令和7年11月29日 県民会館ホール



◆笠井信輔さんのプロフィール◆

早稲田大学卒業。1987年4月フジテレビにアナウンサーとして入社。「とくダネ！」のキャスターを20年務め、東日本大震災の取材では現地に1か月ほど滞在。2019年9月フジテレビを退社しフリーアナウンサーに。その2か月後に「悪性リンパ腫」という血液のがんが判明。4か月半の入院、抗がん剤治療で「完全寛解」となり仕事復帰。2020年11月に人生の困難を乗り越えるエッセイ「生きる力～引き算の縁と足し算の縁～(KADOKAWA)」を出版。現在さらに仕事の幅を広げている。

笠井信輔さん講演会レポート

アナウンサーとして活躍しながら、3人の息子の父親として子育てに奮闘した日々。そして、悪性リンパ腫（血液がん）との闘い。笠井さんは、それらの経験を率直なエピソードを交えながら気さくに語りかけ、聴衆に深い学びと共感を与えてくださいました。

◇立ち会い出産とイクメンの先駆け◇

笠井さんはフジテレビアナウンサー時代、当時としては異例の「妻の出産に伴う番組休暇」を取得し、立ち会い出産を実現されました。世間から多くの賛同を得たその行動は、まさに「イクメン」の先駆けといえます。

長男が小学生になり、自身の知名度が息子の生活に影響を及ぼし始めたことから、PTA活動にも積極的に取り組まれたそうです。そうして親子ともに学校に馴染んでいった経験から、子供の成長に伴って親の役割も変化していくことを痛感したと語っていただきました。また、文武両道への悩み、スマホゲーム依存、いじめ問題など、どの家庭にも共通する課題に夫婦で試行錯誤した経験をユーモアたっぷりに告白。一つ一つの問題に誠実に向き合ってきた笠井さんの姿勢に触れ、私自身も子供との向き合い方を改めて考えるきっかけとなりました。

◇がん闘病：人生の「まさか」からの学び◇

悪性リンパ腫という人生の「まさか」について、最新の治療の様子をご自身の体験や闘病中の動画を交えて語っていただきました。治療中、単に生活を制限するだけでなく、「食べたいものを食べて体重を減らさない」といったQOL（生活の質）の維持が重要であること。また、周囲からの「あなたのため」という言葉が時に患者のストレスになり得るという指摘は、非常に示唆に富むものでした。

さらに、アニメ『鬼滅の刃』の主人公が自分を鼓舞するセリフを引き合いに出し、現代の子供たちが「人から言われるのではなく、自ら自分を奮い立たせる」精神構造を持っていることを解説。子供の「好きなこと」を否定せず、応援し、後押しすることの大切さを説かれました。

講演を終え、自分自身の生き方や日々の子育てに、前向きなエネルギーをいただいたと感じた参加者も多かったのではないのでしょうか。



講演会に参加された方々の感想より

- ・家庭での子育てに関する夫婦の会話や子供の様子などを語ってくださり、子供の意思を尊重しつつ、積極的に関わる大切さを改めて考えるきっかけとなりました。
- ・本当に良かったであろうがん闘病を、明るい笑いに変えてお話しされる姿に感銘を受けました。闘病中も大切にされていた『鬼滅の刃』の主人公のセリフのように、自らを鼓舞する強さで乗り越えられ、今こうして元気な姿で講演されていることを本当に嬉しく思います。
- ・内容はもちろんのこと、話の進め方や準備の緻密さなど、あらゆる面でプロ意識を感じる示唆に富んだ講演でした。最後にはお見送りまでしていただき、その「おもてなしの心」に触れ、心に残る一日となりました。
- ・中学生のクラブ活動で指導者をしています。「がんばれ!」はつい言いがちですが、自分が経験してきた昭和の根性論を見直し、これからは子供たちにかかる言葉一つ一つを丁寧に考えていきたいです。



災害報告〈2025年度〉

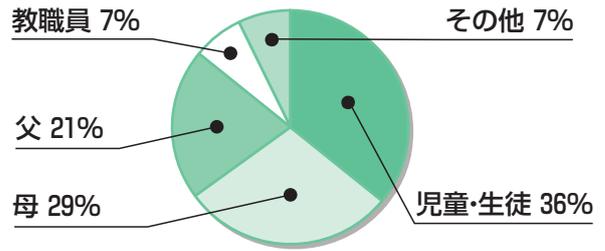
令和7年度のPTA活動において発生した災害について、災害見舞金の申請件数は14件でした。主な要因として、PTA親子活動中（ドッジボール、ビーチボール等）の保護者の事故が増加傾向にあります。親子で楽しむレクリエーションではありますが、保護者の皆様は、お子さんの前でも決して無理をされず、事前の準備運動を十分に行ってから活動していただくようお願いいたします。また、主催側のPTA役員の方々におかれましても、冒頭での注意喚起に加え、レクリエーション中の参加者への目配り・気配りを徹底していただきますよう、よろしくお願いいたします。

万が一、不測の事態が発生した場合は速やかに病院を受診し、親子安全会へご連絡ください。今年度は、氷見地区・魚津ブロック・砺波地区にて「安全教育研修会」を開催いたしました。今後も様々な機会を捉え、PTA活動における安全意識の向上と、災害・事故等の未然防止に努めてまいります。

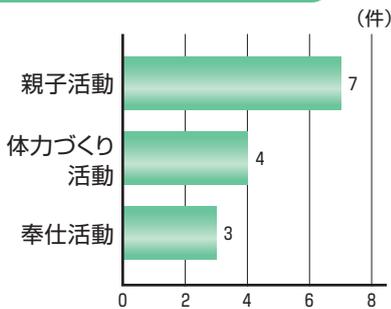
PTAあぜんキーワード 災害見舞金（共済給付金）

- ★安全会では、こうしたPTA活動中のケガや病気に対して災害見舞金を給付しています。災害見舞金の請求は、完治を待たなくても手続きできます。また、通院1回から支給されます。
- ★他から治療費を受給したり、健康保険で診察してもらったり、他の傷害保険で給付を受けたりしたときも、災害見舞金として給付の対象となります。
- ★災害発生より3年以内なら請求可能です！

■受給者別割合（計14人）



■活動・行事別件数

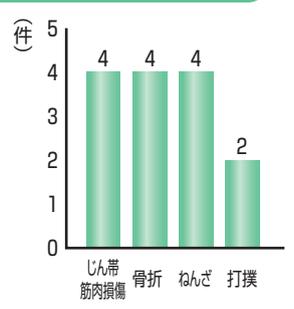


【判定委員 eyes】

気になるのは、件数がわずかに増えているだけでなく、長期の治療を要する重大な怪我が目立っていることです。もし後遺障害が残るようなことになれば、企画者・参加者双方にとって、これほど悔しいことはありません。

実施する活動に危険な箇所がないか、改めて点検をお願いします。特に行事を楽しむアクティビティは、常に怪我のリスクを伴うものです。「事前の準備」と「丁寧な計画」で、参加者の笑顔を守る活動を心がけていきましょう。

■傷病名別件数



皆様からたくさんのお寄せ金が寄せられています！

PTA親子安全会では修学の意欲をもつ子供たちの一層の支えとなるよう、就学奨励金を給付しています。この就学奨励金に充てる目的で、皆様から寄付を募集しています。今年度は今のところ15件、290,000円の寄付をいただいております。今後も引き続き寄付金を募集していますので、是非ご協力をお願いいたします。

～ご寄付いただいた方々（法人、個人）の一覧～（順不同・敬称略）

〈法人〉

医療法人社団 おざわ歯科医院	理事長 小澤真理子
新高清掃株式会社	代表取締役 金井 武史
有限会社 こえだでんき	代表取締役 肥田 達巳
株式会社 五万石	代表取締役 安井翔太郎

有限会社 サンクリーンYOU & ME

代表取締役 竹本 伸生
代表取締役 羽柴 俊成
代表取締役 青野 信明
代表取締役 堀 誠史
代表取締役 松嶋 浩二

〈個人〉

林 由希
津本 虎雄
小竹 信成

寒さ厳しい冬も終わりに近づき、少しずつ春の足音が聞こえてくる季節となりました。ミラノ・コルティナオリンピックでは、日本選手の活躍に心躍らせた方も多かったのではないのでしょうか。子供たちも、アスリートたちの挑戦する姿から、夢を持つことの大切さを学んだことと思います。

春の訪れとともに、卒業・進級の季節を迎えます。新しい環境への期待と不安を抱え、まだ新生活に慣れていない子供たちにとっても、思いがけない事故も起きやすいことから、安全確認はより一層大切になります。来年度も保護者と学校、地域が一体となって、子供たちの笑顔と安全を守っていきましょう。

引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員 廣川 範樹

編集後記

- 委員長 寺内 真
 (常務理事・朝日)
- 委員 廣川 範樹(理事・入善)
 委員 堀田 博志(理事・上市)
 委員 森 克史(理事・立山)
 委員 林 洋一(理事・富山)
 委員 佐伯 真未(理事・富山)
 委員 山田 彰(理事・射水)
 委員 杉森 智和(理事・砺波)
 委員 海木 聡
- (判定委員・砺波ブロック)

令和七年度 広報委員紹介

